

も、禮祿謝義に對して行ふ修法は、神佛も感應は有まじく、殊に天道は請給ふまじき也。譬へば賣女の子をなさゝるが如し、欲情の交りし修法は、天命も佛神も、脇に成し給ふ也。如此當世は、聖教の道も、佛神の道も地に落て、利欲に汚れて奇瑞なく、不測の天命更に降り給はざる也。

○按ズルニ、陰陽寮ノ陰陽師ノ事ハ、上文陰陽寮職員條ニ收メタリ、

〔令義解一職員〕大宰府○帶筑前國

陰陽師一人掌占筮相地

〔類聚三代格五〕太政官符

應置鎮守府陰陽師事

右得陸奥國解備鎮守府牒稱、軍團之用、卜筮尤要漏刻之調亦在其人、而自昔此府無陰陽師、每有恠異、向國令占往還十日、僅決吉凶、若有機急、何知物變、請被言上、將置件職者、國加覆覈、事誠可然、望請始置其員、令備占決、謹請官裁者、大納言正三位兼行民部卿藤原朝臣冬緒宣奉勅依請、

元慶六年九月廿九日

太政官符

應改權史生爲陰陽師事

右得中務省解備、陰陽寮解備、武藏權史生屋代直行欸狀稱、謹檢案内出羽武藏等國、元來無陰陽師、而依國解狀、以陰陽生始置件職、出羽號陰陽師、武藏稱權史生、靜尋事、意理不可然、望請准出羽國、號陰陽師者、寮依欸狀申送者、省依解狀、謹請官裁者、從三位守大納言兼左近衛大將行陸奥出羽按察使藤原朝臣基經宣奉勅依請、

貞觀十四年五月二日

太政官符